

会 議 要 旨

会 議 の 名 称	令和6年度第1回川越市地域包括支援センター等運営協議会
開 催 日 時	令和6年6月26日（水） 10時00分 開会 ・ 11時40分 閉会
開 催 場 所	川越市保健所2階大会議室（川越市大字小ケ谷817-1）
議 長 氏 名	廣瀬哲也会長
出席委員氏名	大塚副会長、筒井委員、岡持委員、渡邊委員、酒井委員、 佐藤委員、近内委員、柴委員、岡野委員、井上委員、粕谷委員、 松田委員 (13名)
欠席委員氏名	水村委員、西内委員 (2名)
事務局職員 職 氏 名	介護保険課 新井課長、君島副主幹、小名木主査 地域包括ケア推進課 富田課長、神立副課長、内藤副課長、 武弓主査、三ツ目主任、鈴木保健師 福祉相談センター 高橋所長
オブザーバー	川越市地域包括支援センターきた 安原氏 〃 中央ひがし 新井氏 〃 中央にし 五位野氏 〃 ひがし 渡邊氏 〃 たかしな 廣川氏 〃 みなみ 佐々木氏 〃 だいとう 赤沼氏 〃 かすみ 佐波古氏 〃 にし 村田氏 機能強化型地域包括支援センター 近藤氏 (10名)
配 布 資 料	1 次第 2 委員名簿 3 【計画書】すこやかプラン・川越 川越市高齢者保健福祉計画・第9期川越市介護保険事業計画 4 「このまち」で、いつまでも すこやかプラン・川越 概要版 5 資料1 令和5年度地域包括支援センター事業実績 6 資料2 地域包括支援センター別令和5年度事業実績・令和6年度事業計画 7 資料3 令和5年度認知症地域支援推進員の活動実績 8 資料4 令和5年度福祉相談センター業務実績 9 【リーフレット】福祉総合相談窓口 10 福祉総合相談窓口要覧（概要版）

	1 1 資料 5 令和 6 年度川越市地域包括支援センター等運営協議会のスケジュールについて（予定） 1 2 資料 6 予防給付ケアプラン・介護予防マネジメント委託居宅介護支援事業所の承認について（令和 5・6 年度新規） 1 3 資料 7 介護予防支援事業の対象事業者の拡大に伴う指定手続について 1 4 資料 8 介護保険法施行規則改正に伴う川越市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正（概要） 1 5 参考資料 1 令和 6 年度川越市地域包括支援センター運営方針 1 6 参考資料 2 川越市地域包括支援センター等運営協議会について （当日配布資料） 1 7 事務局名簿 1 8 【チラシ】第 1 2 回医療介護フォーラム 安心して認知症になれるまちづくり～本人とともに考える～
--	---

議 事 の 経 過	
	1 開 会 2 あいさつ 3 委員紹介 4 職員紹介 5 会長副会長の選出 ・会長は廣瀬委員、副会長は大塚委員が互選により選出 6 諮問 ・傍聴人の確認＜傍聴人なし＞ 7 報 告 (1) 川越市高齢者保健福祉計画・第9期川越市介護保険事業計画について 事務局 『「このまち」で、いつまでも すこやかプラン・川越 概要版』を基に事務局より説明。 委員 意見・質疑なし (2) 令和5年度地域包括支援センター事業実績について 事務局 【資料1】を基に事務局より説明。 委員 意見・質疑なし (3) 地域包括支援センター別令和5年度事業実績・令和6年度事業計画について 事務局 【資料2】を基に事務局より説明。 ・資料2 各センターの事業計画の見出しについて下記訂正あり。 (誤) 令和5年度事業計画書 ⇒ (正) 令和6年度事業計画書 会長 本日は地域包括支援センター（以下「包括」という）にも出席をいただいているので、2カ所の包括及び機能強化型地域包括支援センターから報告をお願いしたい。

オブザーバー (たかしな)	【資料２】を基に地域包括支援センターたかしなより説明。 独居高齢者の孤立や独居死への見守りは、認知症の方への支援とともに、大きな課題となっており、新規相談件数は昨年度から大幅に増加している。相談内容は認知症関連の近所トラブル、ゴミ屋敷問題、高齢者虐待、がん末期の相談、多世代問題など深刻な事例が増加傾向にある。特に高齢者虐待は今年度大幅に増加している。多世代支援や地域づくりでは、関係機関などの協力を得て支援を行ったり、担当圏域ケア会議を実施した。オレンジカフェは３カ所で再開し、デイサービスのようなところ、落ち着いて相談がしやすいところ、多世代が集まるところと、それぞれ特徴が異なるよう意識して取り組んだ。チームオレンジの結成や自主グループの新規立ち上げを支援した。 今年度も引き続き、地域の見守りシステムづくり、オレンジカフェの新規立ち上げやチームオレンジの支援、自主グループの新規立ち上げを進めていきたい。
オブザーバー (だいとう)	【資料２】を基に地域包括支援センターだいとうより説明。 担当圏域ケア会議『まるごとネット』を２ヵ月に１回開催。参加者は自治会役員、民生委員、医療や介護事業者、社協などで、様々なテーマで講演会やグループワークを行い、顔の見えるネットワークづくりに力を入れている。昨年度は、「学びあおう・つながろう・顔の見えるネットワーク」をテーマに話し合った。また、高齢者の出場所では、スペースを提供協力してくれる事業者の情報が有り、今年度から新たなオレンジカフェを開始。相談内容は、多世代・多問題になってきており、問題を地域で抱え込まないように、行政や関係機関、地域の方々との連携を目指している。地区一体となった介護予防の推進として、誰でも気軽に参加できる場として「いきいきだいとうスタジオ」を民生委員や公民館の協力のもと、６月から毎月開催した。大東支会が多世代交流として推進しているユニバーサルスポーツの卓球バレーを地域会議の中で体験会を行った。 今年度の重点実施事項として、ネットワークの充実と、総合相談支援の強化、地区や住民と一体となった介護予防の推進を掲げている。地域で活動していくためには、活動を知ってもらうことが大事であり、包括としても地域の人・仕組み・ルールを知っていくことが大事だと思っている。地域に必要なことを協力し、足並みを揃えていくこと、一緒に活動していくことが、地域の力になると思うので、今年度も地域づくりと相談支援体制の強化に取り組んでいきたい。
オブザーバー (機能強化)	【資料１及び２】を基に機能強化型地域包括支援センターより説明。 新型コロナウイルスが５類に引き下がったことで、住民や地域の活動が活発になり、一度止まっていた活動再開に向けた支援の相談が多くあった。また、包括やケアマネジャー、住民からのリハ職に寄せられる相談と

	しては、アフターコロナや酷暑によりフレイル状態の方が多く、フレイルに関する相談が多くあった。 包括やケアマネジャー等と同行訪問する機会が、令和4年度と比較し、令和5年度は増加し、多くの関係機関と連携を図りながら、リハ職としてアセスメントを行い、個別支援をサポートした。 地域や住民の課題が複雑化・多様化している傾向があり、包括だけでは解決できないことが増えている。住民主体の活動の場では、コロナを経て、代表者の交代や介護予防サポーターの高齢化、活動自体の縮小などまだまだ課題はある。また、自治会という縛りを敬遠する人も見られており、今後も住民主体の活動への支援を継続していく。
委員	(意見・質疑等) 資料を拝見して、川越市は色々なところや部署との連携が凄いなと感じたのと、包括がすごく色々な事を行っていると感じた。ただ、近所の身内や知り合いで、いもっこ体操などに参加して欲しいと思う人もいるが、行っていない人、なかなか足が進まない人がいて、自治会に加入していないと知る機会も無いように思う。「俺行ってるよ」という話もなかなか聞かない。是非とも行っていただきたいと思う人がいるが、回覧板も名前がなければスルーしがちかと思う。
会長	包括の普段の取組の広報について、どなたか説明あるか？
オブザーバー (機能強化)	各包括で回覧を回していたり、お便りを発行して住民に渡したり、広報に載せたり、最近では川越市のポータルサイトに記事を書いたりして、どんな方も見られるように努力はしているところ。ただ自治会へのアプローチが中心になっているので、そこから知っていただくことが多いと思う。 あとは、いもっこ体操では参加された方からの口コミで広まっているところが多いというのが現状。なるべく広まるように、普及啓発という部分では、今後も力を入れる必要があり、課題かと思う。今後ご意見いただければと思う。
オブザーバー (中央にし)	どういうところに情報があると、もっと皆さんが目にしてくれるのか、それを知りたいと思う。
委員	自治会でないとすると、私は「何かあったら包括だよ」ということを伝えるようにしている。しかし、そもそも包括を知らない人もいる。あとは病院も1つかと思う。私自身も病院に通っていたときに、病院に相談室があることを知らなくて困ったことがある。案内は貼ってあったが、それだけだと気づかないので、看護師・受付・先生でも誰でもいいので、言葉で言ってもらえるといいと思った。貼ってあるだけだと気づかない。また、

	何か思いついたら伝える。
会長	これからも課題かと思う。 私も、患者さんに、もっと知ってもらいたいと思う。
事務局	（４）令和５年度認知症地域支援推進員活動実績について 【資料３】を基に事務局より説明。
委員	意見・質疑なし
事務局	（５）令和５年度福祉相談センター相談実績について 【資料４】を基に事務局より説明。
委員	全体的な意見としてお話しさせていただければと思う。 皆様が、様々な課題に真摯に取り組まれていて、多忙な中、地域づくりやその他、専門的な部分も含めて取り組まれていることに、頭が下がる思いで、資料を読ませていただいた。 様々な支援が必要な方はいるが、そのために早期発見や軽度の方の受け皿ということが非常に重要になってきているかと感じており、その受け皿として、地域が果たす役割が今後ますます大きくなってきているかと思う。 そのために、皆様が地域の活動の掘り起こしや既存の活動の継続などに支援いただいているかと思う。既存の活動を継続していく中で、参加者の高齢化が進み、活動の継続が難しいという課題がいくつか見えてきているということで資料を拝見したが、高齢の方だからこそ、こうした地域の活動の場に出ていく効果というものを今一度理解をしていただくという啓発も今後必要になってくるかと思っている。たとえば、いもっこ体操は体操する場というだけではなく、地域の集いの場という機能もあるかと思う。地域の集いの場としては、定期的集まって、人と触れ合うということそのものが、生活習慣のリズムや、社会参加にもつながり、その場に來ていただくということ自体が体操をしなくても体を動かすことになるので介護予防になる。定期的集まることで自然な見守りにもなる。定期的に顔を合わせることが、顔見知りの関係性を作って、そこからちょっとした支援、郵便・配布物や被服の修繕のような、ちょっとしたことでも声を出せる場につながると思う。そういう様々なメリットがあるということを改めてお伝えして、住民の皆様に効果や素晴らしさを伝える講話や出前講座もあって良いのではないかと感じている。そうすることで、既存の活動者の方が継続するモチベーションにつながったり、あるいは担い手の裾野を広げていくことにもつながっていくのかと思う。 包括の方だけではなく、生活支援コーディネーターもそうした講話がで

	きるかと思いますので、連携しながら、住民の方の意識の啓発というところも今後力を入れてみていいのかと思う。
会長	貴重なご意見、ありがとうございました。
事務局	(6) 令和6年度川越市地域包括支援センター等運営協議会のスケジュールについて 【資料5】を基に事務局より説明。
委員	意見・質疑なし
事務局	9 議事 (1) 予防給付ケアプラン委託居宅介護支援事業所の承認について 【資料6】を基に事務局より説明。
委員	意見・質疑なく、承認。
事務局	10 その他 (1) 介護予防支援事業の対象事業者の拡大に伴う指定手続について 【資料7】を基に事務局より説明。
委員	意見・質疑なし
事務局	(2) 介護保険法施行規則改正に伴う川越市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 【資料8】を基に事務局より説明。
委員	意見・質疑なし
	11 閉 会